



■氏名 南 アユ子 (みなみ あゆこ)

■生年月日 昭和18年8月26日

■現住所 水俣市塩浜町

■略歴

- 昭和18年8月 長崎県五島町に生まれる。7人の兄弟姉妹の長女
- 昭和21年 3歳の頃、父の地元である水俣市（丸島町）に家族で移住
- 昭和24年頃 父が水俣市漁業協同組合の事務職（のちに参事職）として勤める。
漁師から新鮮な魚をもらってたくさん食べていた。
- 昭和47年12月 父が患者として認定される。
- 昭和49年11月 父死去
- 平成17年10月 水俣病不知火患者会入会。国・県・チッソに損害賠償を求め提訴。
- 平成23年3月 国・県・チッソとの和解が成立。

■職業 専業主婦

■水俣病とのかかわり

本人：水俣病患者家族（医療費給付対象）

父：水俣病認定（昭和49年死去）

母：未申請（胃がんで亡くなる）

■主な語る内容

- ・漁協の参事をしていた父と漁師の患者宅を回ったときの様子や漁師の困窮した生活の様子熊本大学医学部に資料提供をしていたときの苦労など。
- ・「水俣病は漁師がなる病気だから、事務屋の俺は絶対に水俣病にはならない」と言っていた父、その発病から亡くなるまでを語る。
- ・将来的な健康被害に対する不安。継続的な支援対応を訴えていきたい。